

伊東維年教授退職記念号によせて

学 長 幸 田 亮 一

伊東維年先生は、1969年に佐賀大学文理学部をご卒業後、九州大学大学院経済学研究科に進学され、1977年に同研究科博士課程を単位取得満期退学されて、引き続き九州大学において経済学部助手、産業労働研究所助手をお務めになった後、1979年に熊本商科大学経済学部講師として着任されました。その後、助教授をへて1993年には教授に昇格され、1995年には博士（経済学）の学位を九州大学より授与されています。

先生のご専門は経済地理学で、研究成果は単著だけでも『テクノポリス政策の研究』（日本経済評論社、1989年）、『地産地消と地域活性化』（日本評論社、2012年）、『戦後地方工業の展開—熊本県工業の研究』（ミネルヴァ書房、1992年）、『日本のIC産業—シリコン列島の変容』（ミネルヴァ書房、2003年）、『シリコンアイランド九州の半導体産業—リバイタリゼーションへのアプローチ』（日本評論社、2015年）と力作を相次いで上梓され、学会賞や研究賞を受賞されています。この他に、地域の工業振興に関する第一人者として、編著も含め多数の著作で研究成果を世に問われてきました。

先生は1998年から2001年にかけて4年間、本学の産業経営研究所の所長として、研究所創立40周年記念事業を立案され、一連の研究会を集中的に開催され、その成果は『熊本県産業経済の推移と展望—自立と連携をめざす地域社会』（日本評論社、2001年）として纏められました。

先生は地域にも深く関与され、熊本県農村地域工業等導入審議会委員や熊本県先端技術波及促進協議会幹事、菊池市都市計画審議会会長などをお務めになり、熊本の地域発展に尽力されてきました。私事ながら、日本政策投資銀行九州支店の委託研究「熊本県の半導体・自動車関連製造業の動向」で先生とご一緒する機会があり、県内各地の工場を巡りいろいろ教えて頂いたことを思い出します。あらためて感謝申し上げます。

1979年より長年にわたって熊本学園大学の発展にご貢献頂いた伊東先生は2016年3月をもってご退職となりました。引き続き特任教授として教育研究だけでなく、熊本地震後の地域振興にもご尽力いただいていることはたいへんありがたいことです。

これから先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学に発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

伊東先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。